

こだま

第215号

2023. 10

金沢大学附属図書館報 “こだま”

<https://library.kanazawa-u.ac.jp/>

四高は「善の研究」のふるさと 金大蔵書から見た西田幾多郎

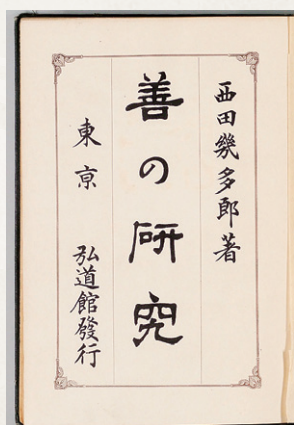


図1
西田幾多郎著『善の研究』（初版本）

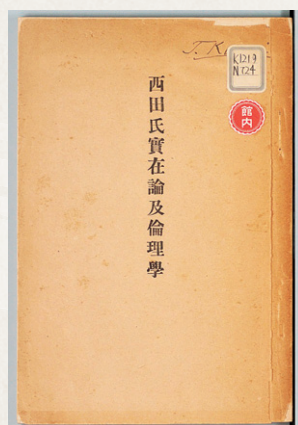


図2
『西田氏實在論及倫理学』



図3
1906 (明治39) 年の三々塾集合写真。2列目右から2番目が西田，最後列左端が河合良成（金沢大学資料館）

日本最初の哲学書と言われる『善の研究』の著者、西田幾多郎が金沢大学の前身校の一つ、第四高等学校（四高）*に在籍していたことをご存じでしょうか？今号では、10月に附属図書館で開催するシンポジウム「金沢から考える西田哲学の可能性とその魅力」にちなんで、金大蔵書中の西田関連資料を紹介します。

四高生でもあり四高教員でもあった西田にとって『善の研究』は、四高時代の交友・読書・思索の総決算といえる著作でした。そのことを中心に図書館に現存する資料から、西田の人生を見ていきましょう。

*西田は学生として四高の前身である石川県専門学校および第四高等中学校に在籍していましたが、ここではこれらも総称して四高と記載します。

■西田幾多郎（1870-1945）宇ノ気村（現かほく市）に生まれた哲学者。第四高等中学校に在籍中に哲学を志し、帝国大学で学んだ後、四高嘱託講師、山口高等学校講師等を経て、1899年に四高教授として着任。倫理学、論理学、心理学などの授業を担当した。その後、学習院教授を経て、1910年以降、京都帝国大学に移り、京都学派の創始者として、その影響力は現代にまで及んでいる。

■『善の研究』西田幾多郎の書いた哲学書。西田の最初の著作で、初版は1911年に弘道館から出版された。「純粹経験（物（客観）と心（主観）を分ける先入観におちいる前の直接的な経験）」の概念をベースに、「實在」「倫理」「宗教」についての西田の考えを論じている。全体は4編からなり、第2編および第3編は西田が四高教授時代に行った講義録とほぼ同一の内容（この部分に対応するのが『西田氏實在論及倫理学』）である。

■西田幾多郎関連貴重資料をWeb公開

附属図書館Webサイトの「貴重資料等コレクション」の以下のページで『西田氏實在論及倫理学』と『善の研究（弘道館、初版、暁烏文庫所蔵）』の全文PDFを公開しています。両者の違いを確認してみてください。

https://library.kanazawa-u.ac.jp/?page_id=40000

1. 四高生時代

- 西田は1887(明治20)年、四高入学後、後に世界的な宗教学者となる鈴木大拙(本名:貞太郎)、藤岡作太郎らと同級生となり、生涯の友人となりました。その頃の在籍記録が『第四高等中学校一覧』(図4)に残っています。
- 四高生時代、西田は生涯の師となる北条時敬^{ときゆき}と出会い、思想・就職の両面で大きな影響を受けました。北条の蔵書の一部は四高に寄贈され、現在も金大図書館内の北条文庫(図5)として利用されています。
- 西田は随筆『四高の思出』の中で、1880年代後半、四高生時代に読んだ本を具体的に紹介しています。それらの本も四高蔵書中に残っています(図6)。

第十八章 生徒姓名 (明治二十年十月間)	
理科第一年	生徒姓名
佐井上友一	石川 松本文三郎 全
木村 榮 同	高崎勇次郎 全
藤岡作太郎	石川 西田幾多郎 全
金田 真吉 同	
長谷川貞一郎	石川 川越宗孝 同
横山正誠 同	佐藤 鈴木貞太郎 同
佐藤 島津吉 同	

図4
1887(明治20)年の第四高等中学校一覧(予科1年に西田、大拙、作太郎、理科1年に木村栄らの名前がある)



図5
北条文庫

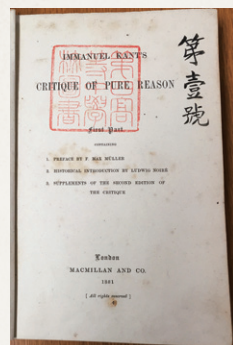


図6
西田自身「当時はとても分かりそうになかった」と書いているカント『純粋理性批判』(英訳版)

2. 四高教員時代

- 1899(明治32)年、西田は北条が校長となった四高に教授として戻ってきます。その頃、西田が執筆活動の主要な場としていたのが、四高の校友会誌『北辰会雑誌』(図7)でした。後に『善の研究』の第1編となる論文もこの雑誌に最初に発表されました。また「KN生」のペンネームで俳句も発表しています(図8)。これらは金沢大学学術情報リポジトリ KURA に収録されており、全文を読むことができます。
https://kanazawa-u.repo.nii.ac.jp/?action=repository_uri&item_id=41556
- 西田のこの頃の思索や読書が『善の研究』の内容に大きな影響を与えています。例えば、西田の1904(明治37)年1月8日の日記に「かりてきてよみ始めた」と書かれているW・ジェームズ『宗教的経験の諸相』(The Varieties of religious experience) (図9)は、当時米国の出版社に所属していた大拙が西田に読むことを強く薦めた心理学の専門書で、『善の研究』の最重要概念「純粋経験」の形成に影響を与えたと言われています。西田が読んだ「まさにその本」が四高の蔵書として残っています。

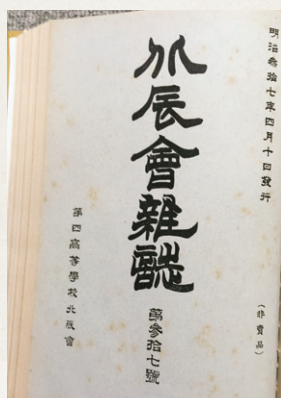


図7
『北辰会雑誌』表紙

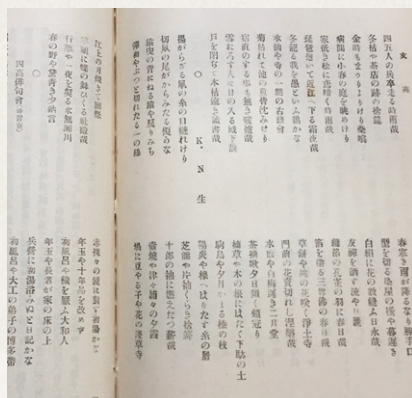


図8
『北辰会雑誌』第37号(明37)に掲載されている西田(KN生)の俳句

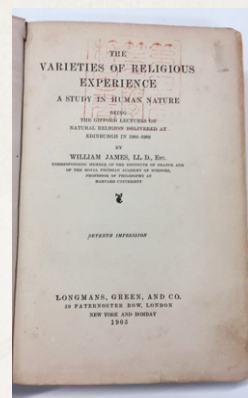


図9
四高蔵書中のW. ジェームズ『宗教的経験の諸相』

3. 四高生との絆が生んだ『善の研究』

- 北条校長時代、四高には学校公認の三々塾という下宿があり、当時30代だった西田は「兄貴分」として、学生と熱く交流をしていました（表紙図3）。塾のネーミング（明治33年に始まったから）も西田によるものです。
- そして、1907（明治40）年頃、西田が担当していた実在論と倫理学の講義の内容が、後にほぼそのまま『善の研究』の第2、3編となりました。その内容はさすがに高校生には難解。当時級長で三々塾生でもあった河合良成（後に吉田茂内閣の厚相、小松製作所（現コマツ）の社長・会長を務めた）が西田に頼んで試験前に講義原稿を提供してもらい、雑誌部員だった小笠原秀實が印刷。この印刷物にはいくつか版がありましたが、現在所在が確認されているのは、2つの講義録を合体させた『西田氏実在論及倫理学』のみです（表紙図2）。この冊子は長年行方不明の「幻の本」とされていましたが、実は金大図書館の駒井文庫（四高教授時代、西田の同僚だった駒井徳太郎教授の蔵書を遺族が金大に寄贈した文庫）で保存されており、昨年4月に「再発見」されて、大きなニュースとなりました。

4. 『善の研究』刊行後

- 1910（明治43）年、西田は四高を離れ、学習院を経て、京都帝国大学の教官となります。そして、1911（明治44）年、『善の研究』を弘道館から発行（表紙図1）。この本は、当初それほど話題になりませんでした。大正時代以降、評価が高まり、旧制高校生の必読書となっていきます。西田は、その後も探求を深め、その思想は、「西田哲学」と呼ばれるものに発展していきました。
- 1936（昭和11）年、66歳になった西田は、四高生の頃に金沢の街の中で耽っていた考えが、『善の研究』の基となったことを回想しています。四高、そして金沢は『善の研究』のふるさとであり、その流れを受け継ぐ金大図書館には、西田自身が手にしたと思われる資料がいくつも残っています。生涯を通じて、世界や人間や宗教についての真理を考究し続けた、西田幾多郎の精神を後輩である皆さんにも是非継承していった欲しいと思います。

5. 読書案内：『善の研究』の入門書紹介

初版の発行から100年以上たった現在も、『善の研究』の入門書は続々と刊行されています。この機会に、原本と一緒に読んでみませんか。

- 西田幾多郎『善の研究（改版）』（岩波文庫）岩波書店、2012（中央図思考の森121.6：N724）
※藤田正勝氏による詳細な注解・解説が付いており、西田の読書の跡が分かります。
- 藤田正勝『西田幾多郎「善の研究」を読む』（ちくま新書）筑摩書房、2022（中央図開架121.6：F961）
※金大所蔵の『西田氏実在論及倫理学』にも言及されています。
- 大熊玄『実在とは何か：西田幾多郎『善の研究』講義』新泉社、2023（中央図開架121.6：O41）
※第2編についての詳細な入門書
- 大熊玄『善とは何か：西田幾多郎『善の研究』講義』新泉社、2020（中央図開架121.6：O41）
※第3編についての詳細な入門書
- 仲正昌樹『「日本哲学」入門講義：西田幾多郎と和辻哲郎』作品社、2015（中央図開架121.6：N163）
※第1-3編を中心とした講義形式による入門書

（情報サービス課長・橋 洋平）

関連情報

西田幾多郎シンポジウム「金沢から考える西田哲学の可能性とその魅力」

2023年10月16日（月） 16：30～ 中央図書館3階AV室

登壇者：中嶋優太（石川県立大学講師）、小田桐拓志（本学融合学域准教授）、橋洋平（本学情報サービス課長）、山本英輔（司会、本学人間社会学域教授）

企画展「四高は『善の研究』のふるさと：金大蔵書から見た西田幾多郎」

2023年10月13日（金）～11月6日（月）中央図書館2階「思考の森」展示コーナー

全国大学ビブリオバトル2023北陸ブロック予選に参加しませんか？

ブロック予選・ブロック決戦を勝ち抜いて、12月17日(日)東京で開催される**全国大学ビブリオバトル2023本戦**(本戦のみ交通費支給)に出場しよう!!

【北陸ブロック予選開催日時】

- ①10月12日(木) 12時10分～12時50分
- ②10月25日(水) 12時10分～12時50分

※各回会場：総合教育棟A1講義室

【参加資格】

北陸3県の大学生・大学院生(大学生相当年齢の高専生、専門学校生を含む)
各回4名(先着順で受付)

※北陸ブロック決戦は、11月18日(土)石川県立図書館だんだん広場で開催されます。

【ビブリオバトルとは】

「人を通して本を知る、本を通して人を知る」をコンセプトとした本の紹介のコミュニケーションゲームです。プレゼン力が磨かれ、度胸がつきます!



【詳細はこちら】

泉鏡花記念館見学ツアー 第3回とぼら館巡り

金沢の三文豪は、金沢市内にそれぞれ記念館があります。今年は、泉鏡花の生誕150年を記念して、泉鏡花記念館を訪れ、学芸員の方に館内を案内していただきます。詳細はQ3にお知らせします。興味のある方はぜひご参加ください。



中央図書館では、ボキャコン参加者を支援します!

金沢大学ボキャブラリーコンテスト2023(10月10日(火)総合教育棟A1講義室)の問題の8割がこの本から出題されるという『TOEIC&R TEST出る単特急金のフレーズ』を展示中です。

期間：7月24日(月)～10月10日(火)

場所：中央図書館3階ライティングセンター前および語学資格コーナー前

◆語学資格コーナーには、TOEIC、TOEFL、IELTSのテキストも揃っています。

◆附属図書館ライティングセンターでは、英語ライティングやスピーキングに関する相談も受け付けています。

※「金沢大学ボキャブラリーコンテスト2023」

主催：国際基幹教育院・未来創成教育環、共催：附属図書館



【ボキャコンの応募はこちら】



【ライティングセンターの予約はこちら】

10月～12月の開館カレンダー

中央図書館

1	8:45～22:00
2	8:15～22:00
3	8:45～17:00
4	9:00～17:00
5	休館 Closed

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

自然科学系図書館

1	8:45～22:00
2	8:45～17:00
3	10:00～17:00
4	休館 Closed

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

医学図書館

1	8:30～22:00
2	8:30～17:00
3	10:00～16:00
4	10:00～17:00
5	休館 Closed

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

保健学類図書館

1	8:45～22:00
2	8:45～17:00
3	10:00～17:00
4	休室 Closed

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

編集後記

牧野富太郎が入り込んでいた、明治期の東京帝国大学植物学教室の様子に興味深く描いていたNHK連続テレビ小説「らんまん」。同時代を生きた西田幾多郎や四高もそのうち朝ドラに登場しないかな、とひそかに期待をしています。

令和5年10月2日発行 発行：金沢大学附属図書館 編集：広報委員会 記事担当：橋 洋平

金大図書館時習基金報告

2023年4月1日～2023年9月22日

●寄附件数 3件

設立からのご寄附累計
28件/1,197,267円
ありがとうございます

Q3もEnglish Hour!を開催します!